

事業者向け放課後等デイサービス自己評価集計結果表

事業所名： ウイングあさひ鶴ヶ峰

	チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	合計	パーセント			職員の意見	職員の意見に対して施設長からの意見
						はい	どちらとも言えない	いいえ		
環境・体制整備	① 利用者定員が指導訓練室当スペースとの関係で適切であるか	11	2	2	15	73%	13%	13%	・利用者が少ない時は良いが、多い時は少し狭く感じる。	・安全面を考慮し、人数が多いときでも構造化をきちんと整備できるよう、適切な場所に適切な物を置くよう対応していきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	14	1	0	15	93%	6%	0%		・基準配置は出来ていますが、児童の特性に応じた対応ができる人員配置を整えていきます。
	③ 事務所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか	7	4	4	15	46%	26%	26%	・バリアフリーは完全ではない。	・活動スペースのみならず、全体を通して不備や不具合がないかチェックリストを作成し、チェックしていきます。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と割り振りに、広く職員が参画しているか	8	6	1	15	53%	40%	6%	・良くわからない。	・目標設定は常勤職員を中心に立案しています。モニタリングを行う際には、なるべく非常勤職員にも参加を促し、意見をうかがうようにします。アセスメントも今後は定期的に行っていきます。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	7	0	15	53%	46%	0%		・今回のアンケートをもとに、保護者の意向を入念に汲み取り、改善に役立てたいと思います。特に、個々の保護者のニーズを聞き取り、児童に対しての支援について一緒に考えていきたいと思っています。
	⑥ この自己評価の結果を、事務所の会報やホームページ等で公開しているか	8	5	2	15	53%	33%	13%	・ホームページに公開している。	・ホームページに公開しています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	7	1	15	46%	46%	7%	・良くわからない。	・第三者評価については、今後の検討課題です。
	⑧ 職員の資質向上を図るために、研修の機会を確保しているか	10	5	0	15	66%	33%	0%	・研修の機会があります。	・常勤職員対象の研修等を、非常勤職員に対しても伝達講習できるように配慮していきます。また業務時間内でなるべく実施できるよう、短い時間でも伝達できる工夫をしていきます。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	12	3	0	15	80%	20%	0%	・適宜ニーズをくみ取った計画作成を行っている。	・ニーズや課題に関しては、個別支援計画の更新の時期に児童・保護者に対して聞き取りを行っています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	7	1	15	47%	47%	7%	・良くわからない。	・適切なアセスメントを行うために必要であれば、他事業所に連絡をとり、準備し適用していきたいと思っています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	5	0	15	66%	33%	0%	・職員全体で共有を図りつつ、プログラム立案～実践している。	・経験や記録をもとに、プログラムを立案しています。また、チーム全体に意見を仰ぎ、計画を立てています。
適切な支援の提供	⑫ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	12	3	0	15	80%	20%	0%	・マンネリ化しないよう工夫しながら対応している。	・プログラム内容はある程度固定しているが、具体的な内容を少しずつ変化させ、改善をしています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援できているか	12	3	0	15	80%	20%	0%	・対応はできている。	・個々の利用者のニーズを把握した上で、TPOに応じた活動内容を計画しています。休日や長期休暇では、季節に応じた活動内容も工夫しています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	13	2	0	15	87%	13%	0%	・状況に応じた対応を心がけている。	・児童同士の相性や個々の情緒に応じて、臨機応変に対応しています。常勤職員が中心となり、コミュニケーションを取りながら非常勤スタッフにも指示をしています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	15	0	0	15	100%	0%	0%	・事前に打ち合わせを行い、確認を実施しています。	・日課について枠組みは常勤職員が取り決めるが、具体的な内容に関しては、非常勤スタッフの意見も仰ぎながら計画しています。その日の役割や内容と一緒に、児童の注意事項や安全面での留意点を話し合っています。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	9	3	3	15	60%	20%	20%	・毎日の打ち合わせは実施できていない部分がある。	・連絡ノートも活用し、情報共有に努めています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	1	0	15	93%	7%	0%	・記録は残すようにしている。	・記録は日々実施しているが、支援の検証改善にはつなげることが出来ていない現状があります。個別支援計画の評価だけでなく、全体を通して日々の支援の改善につなげられるよう配慮していきます。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	8	1	15	40%	53%	7%	・定期的に見直しを図っている。	・個別支援計画の評価時期に合わせ、モニタリングを行っています。長期的な評価がメインとなっています。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7	7	1	15	47%	47%	7%		
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	5	1	15	60%	33%	7%	・参加している。	・横浜地区を代表して1名、継続して参加しています。

事業者向け放課後等デイサービス自己評価集計結果表

事業所名： ウイングあさひ鶴ヶ峰

	チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	合計	パーセント			職員の意見	職員の意見に対して施設長からの意見
						はい	どちらとも言えない	いいえ		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	14	1	0	15	93%	7%	0%	・連携が図れるよう、情報共有には努めている。	・学校の連絡会等には参加し、情報共有に努めています。 ・連絡調整に関しては、常勤スタッフが対応し、トラブル発生時には非常勤スタッフでも対応できるよう、指導しています。
	⑳ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	9	0	15	40%	60%	0%		・主治医からの意見書や、学校や保護者と情報共有しながら、日々の支援につなげています。
	㉑ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を努めているか	5	9	1	15	33%	60%	7%	・チラシを置いている。	・情報共有ができる体制は整えています。
	㉒ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	9	0	15	40%	60%	0%	・まだ卒業をしている利用者が居ないため不明。	・情報提供できる体制は整えています。
	㉓ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	7	0	15	53%	47%	0%	・良くわからない。	・困ったケース等に遭遇していないため、助言や研修は特に現状必要としていません。しかし、今後何らかの形で発達障害者支援センターと連携を取ることが出来るようにしていきます。
	㉔ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	9	3	15	20%	60%	20%	・機会は少ない。	・意図的に活動の機会は設けていませんが、活動場所によっては一緒に過ごす事もあります。
	㉕ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	9	1	15	33%	60%	7%	・良くわからない。	・協議会には現状参加はしていません。
	㉖ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を図っているか	13	2	0	15	87%	13%	0%	・連絡帳や送迎時に情報伝達を行っている。	・連絡帳や日々の送迎を通して、困りごとはないか確認しています。また、事業所内や家庭での様子を情報交換し、共通理解を深めています。
	㉗ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	8	0	15	47%	53%	0%	・良くわからない。	・ペアレントトレーニングは現状行ってないので、今後の検討課題として取り組んでいきます。
	保護者への説明責任等	㉘ 運営規程、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	7	0	15	53%	47%	0%	・契約時に説明を行っている。
㉙ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		11	4	0	15	73%	27%	0%	・適宜相談支援を行っている。	・悩み事に助言を行うよう努めているが、定期的な相談は受け付けていないため、個々の保護者と支援について話し合う機会を設けていきます。
㉚ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	9	2	15	27%	60%	13%	・現在は行ってない。	・定期的に保護者会を開催できる様、取り組んでいきます。
㉛ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		12	3	0	15	80%	20%	0%	・適切に対応できるよう心掛けている。	・迅速にかつ適切に苦情相談対応ができるよう、職員間で情報共有に努めています。
㉜ 定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		12	3	0	15	80%	20%	0%	・毎月ウイング通信を発行している。	・ウイング通信の内容に関しては、保護者や子ども・スタッフに発信し、具体的な内容を提示しています。
㉝ 個人情報に十分注意しているか		15	0	0	15	100%	0%	0%	・個人情報には十分注意を払っている。	・個人情報に関しては、取りあつかう際に必ず気を付けなければならない点を伝達しています。
㉞ 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか		14	1	0	15	93%	7%	0%	・個々の特性に応じた対応を心がけている。	・個々の児童に対して、意思疎通の方法は検討し伝達に努めています。内容によっては保護者に同意をもらい、結果を報告しています。
㉟ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	6	5	15	27%	40%	33%	・良くわからない。	・定期的な行事は行ってないため、地域社会へ事業展開が出来ていません。しかし、地域の社会福祉事業の資源を活用し、地域との連携を図るよう努めています。
㊱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		9	6	0	15	60%	40%	0%	・契約時に説明を行っている。	・マニュアルの存在については、常勤・非常勤スタッフには周知徹底をしています。今後、保護者を含め、どのようにマニュアルを策定し、明文化しているか説明していきます。
㊲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		10	5	0	15	67%	33%	0%	・訓練は実施している。	・定期的な避難訓練を行い、児童に向けてその必要性を伝えています。保護者の方にもその旨は、月間の計画書にて伝えています。

事業者向け放課後等デイサービス自己評価集計結果表

事業所名： ウイングあさひ鶴ヶ峰

	チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	合計	パーセント			職員の意見	職員の意見に対して施設長からの意見
						はい	どちらとも言えない	いいえ		
非常時等の対応	⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14	1	0	15	93%	7%	0%	・研修の機会があり、対応を学んでいる。	・伝達講習や資料を配布し、虐待防止を職員全員に周知徹底しています。
	⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	6	0	15	60%	40%	0%	・契約時に説明を行っている。	・個々の利用者に対して説明し、計画に記載しています。
	⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	11	4	0	15	73%	%	0%	・何かあれば保護者から情報をいただいている。	・現状明確な食物アレルギーのある児童はいません。
	⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	3	0	15	80%	20%	0%	・適宜報告を行っている。	・事業所内で最近の事例を取り上げ、情報共有を行っています。